



JTC

ベビーウォーカー ZOO

取扱説明書

この度は当社製品 歩行器「ベビーウォーカー ZOO」をお買上げ賜り、まことにありがとうございます。

「ベビーウォーカー ZOO」は育ちざかりのお子様の発育の助成と、安全な活動を願って開発した安心設計の幼児育成器具です。

当社はお子様のお健やかなご成長を願って、きめ細やかな心配りによる設計・製品づくりに取り組んでおります。

お子様のお健やかなご成長とともに、本製品を永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

**この説明書は永くご使用いただくために
読んだあとは、大切に保管してください。**



JTC
JTC CO.,LTD.

株式会社 ジェー・ティー・シー

〒599-8238

大阪府堺市中区土師町3-32-38

お客様相談室 TEL(072)276-6306

受付時間

9:00~12:00/13:00~17:00

(祝祭日以外の月~金)

<http://www.jtc-japan.com>



注意

この注意事項を守らなければ、障害を負うかまたは物的障害が生じる可能性があります。

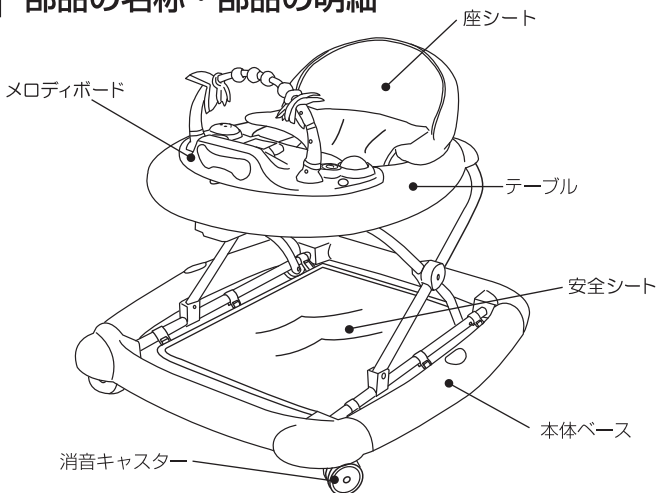
1 安全にご使用していただくためのご注意



歩行器「ベビーウォーカー ZOO」は、生後7カ月以上の幼児に使用する「家庭用の歩行補助具」として開発した製品です。歩行補助具として以外の目的で使用しないでください。また、お子様の安全のために下記の注意事項を必ずお守りいただき正しくご使用ください。

- (1) 組立説明書に従って正しく組み立ててください。
- (2) 使用年齢の範囲は生後7カ月以上15カ月ぐらいまでの乳幼児で、つかまり立ちできてから一人歩きができるまでの期間です。
- (3) 以下の条件下では、歩行器の使用を中止してください。
 - (ア) 手助けなしでも歩けるようになった時
 - (イ) 体重が12kgを越した時
 - (ウ) 身長が80cm以上になった時
- (4) 1回の使用時間は20分程度が適当です。また1日1～2時間程度が適度の運動量です。継続して長時間の使用はしないでください。
- (5) お子様を歩行器に乗せている時は、お子様を決して一人にしないで、保護者が必ずそばに付き添って、歩行器を目の届く範囲においてください。
- (6) 歩行器を使用することにより行動範囲が広くなり、速度も速くなります。手の届く所や、歩行器が当たる所に落下する物や割れ物、ストーブ等危険な物がないかを調べた上でご使用ください。
- (7) 階段や段差のある所、敷居等の近くでは決して使用しないでください。戸外、家の中に拘わらず、常に床の状態をチェックし、歩行器がひっくり返る原因となる凸凹や障害物がないかどうかを調べた上でご使用ください。
- (8) 歩行器をテーブルやカウンターの上に載せて使用しないでください。
- (9) お子様を歩行器に乗せたまま高さ調節を行わないでください。
- (10) お子様に乗せたまま歩行器を運ばないでください。
- (11) お子様シートから滑り落ちる可能性を減らすためと、歩行障害を起こさないためにお子様の両足の裏が完全に床にしているかをチェックして使用してください。
- (12) 二人乗りなど危ない乗り方は絶対にさせないでください。
- (13) 本体ベース枠やテーブルの上に乗ったりしないでください。
- (14) お子様嫌がる時は歩行器から降ろしてあげてください。
- (15) 座シートを取り外した状態での使用はしないでください。
- (16) 使用する前にプラスチック部品にヒビが入っていないか、縫製品に糸のほつれがないかを調べて、見つければ使用を中止して、部品を修理交換してください。
- (17) 歩行器で床にキズをつけたり、歩行器が壊れたりした場合は使用を中止してください。
- (18) 折りたたむ時は、テーブルと本体ベースの間に、手を挟まないように注意してください。
- (19) お子様本体、シート、メロディボードを噛まないように注意してあげてください。
- (20) Xパイプの交差部分にお子様か足をかけて、外に出ようとする場合がありますので、必ず目を離さないでください。
- (21) この商品にお子様か寄りかかって立ち歩きしないように注意してください。
- (22) 商品・部品を入れているナイロン袋を、お子様がかぶったりしないよう、保管には十分注意をしてください。
- (23) 細かい部品などをお子様か誤って飲み込んだりしないようご注意ください。
- (24) ご使用後は折りたたんで保管してください。
- (25) この商品は商業用に製造された品物ではありません。

2 部品の名称・部品の明細

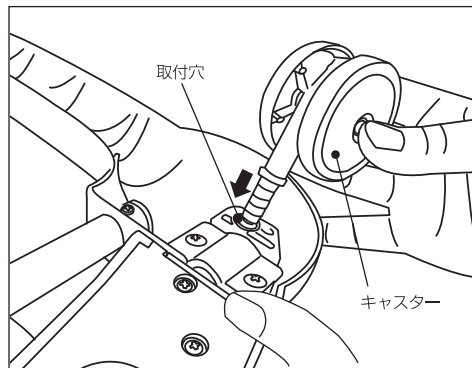


本体ベース&テーブル		1
座シート		1
消音キャスター		4
メロディボード		1
安全シート		1

3 組み立て、取り扱い方法

◎キャスターの取り付け

- ①本体ベースを裏返しにして、キャスター取付穴にキャスターを取り付けます。(全4ヶ所)
- ②図のように片手で本体ベースを支えながら、キャスターを取付穴の奥までしっかりと差し込んで下さい。
- ③歩行器を元に戻し、前後左右に動かして、キャスターが正しくしっかりと取り付けられたことを確認して下さい。



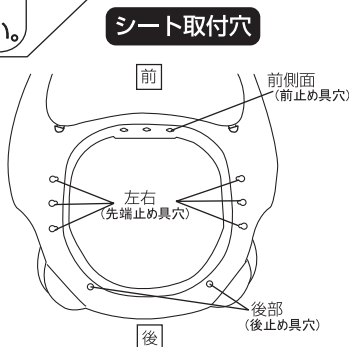
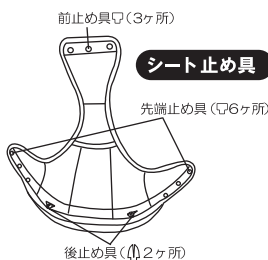
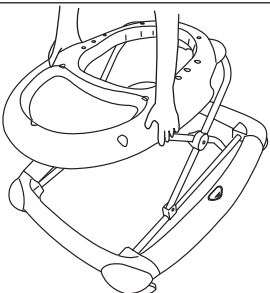
注意 キャスターを取り付けるときは、必ず本体ベースに片手を添えて、しっかり支えて下さい。

◎シートの取り付け

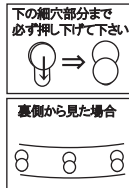
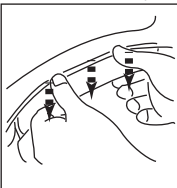
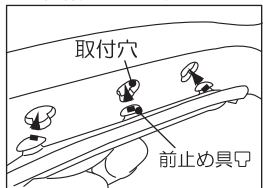


注意 シートは確実に取り付けないと危険です。必ず確実に取り付けたことを確認して下さい。

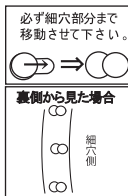
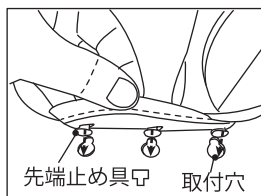
- ベースフレームを押さえながら、テーブルの両サイドを持ち、シートを取付けやすい高さまで引き上げて下さい。



- 1 シートとテーブルの向きを合わせ、前止め具口をテーブル前側面の取付穴(①)3カ所に差込み、芯板の上部に親指を当てて、強く下に押し下げてください。



- 2 先端止め具口をテーブル上面の取付穴(②)に入れ、細穴部分までスライドさせて下さい。(左右6ヶ所)

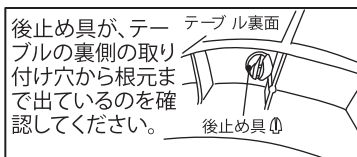
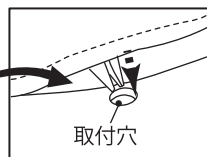
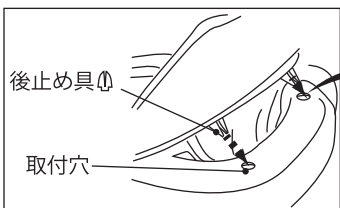


注意 シート前止め具を取付穴に差し込んだ後は、カチッと音がするまで、強く下に押し込んで下さい。そうしないとシートが外れる危険があります。



注意 大きい丸穴に先端止め具を入れた後は、必ず細穴の方へスライドさせて下さい。そうしないとシートが外れる危険があります。

- 3 後止め具④を、テーブル後部の取付穴(③)に入れ、カチッと音がするまで強く下に押し込んで下さい。(2ヶ所)必ず根元まで差込んで下さい。



注意 カチッと音がするまで、強く下に押し込まないとシートが外れる危険があります。

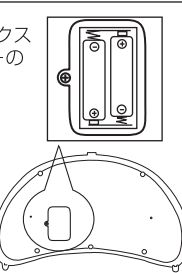
◎メロディボードの取り付け

- 1 メロディボード裏側の電池ボックスに単3電池(別売)2個を+、-の方向を確認して入れて下さい。

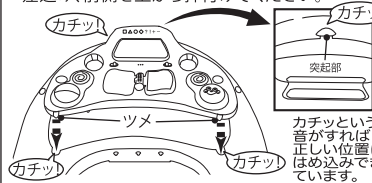
電池の容量が少なくなると下記のような現象が起こりますので、電池を交換して下さい。

1. 音楽がゆづりになる
2. 雑音が鳴る
3. 変な音楽になる

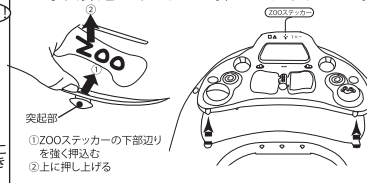
※電池の交換は2個同時に行い、新しい電池と古い電池を混ぜ合わせて使用しないで下さい。



- 2 **取り付け方** メロディボードのツメを本体の凹みに合わせて差込み、前側を上から押付けてください。



- 取り外し方** メロディボードのZOOのステッカーの下部辺りを強く押込んでから上に押し上げて下さい。



注意 メロディボードを持って本体を持ち上げないで下さい。メロディボードが外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

◎ メロディボードの組立方法・おもちゃの遊び方 **⚠**一度差込んだ やしの木のおもちゃ は外せません。

1 やしの木のおもちゃを、メロディボードの取り付け穴にしっかりと差し込みます。(2ヶ所)

※カチッという音がするまでしっかりと差し込んで下さい。(2ヶ所)

メロディが鳴るとピカピカ光ります。

ON/OFF

ページをめくる度にメロディが変わります。

押すと音が出ます。

音量調節

回すとカラカラ音がします。

◎ 歩行器の高さ調節 **⚠**高さ調節を行うときは必ずお子様を歩行器から降ろして下さい。

1 歩行器を高くする時は、ベースを押さえながらテーブルを持ってゆっくりと上に上げて下さい。適当な高さで手を離し、テーブルの上から押してストッパーが掛かっていることを確認して下さい。

カチッ!

※折りたたんだ状態から、歩行器を高くして行くときカチッ、カチッ音がします。それが高さ調節のロックが掛かった状態です。高さ調節は3段階出来ます。

※適当な高さとは、歩行器に乗せた時のお子様の両足の裏が床面に密着する高さです。

⚠ お子様の足の裏が床面に密着しない状態で使用し続けると、お子様につま先立ちで歩こうような悪い癖が付き、逆に歩行が遅くなる場合がありますのでご注意ください

2 歩行器の高さを調節する時は、テーブルの裏側にある、高さ調節ロックレバーで調節します。高さは3段階に調節することができます。

高さ調節ロックレバー

前 後

前 後

●前にスライドさせると歩行器の高さは低くなります。後ろにスライドさせると高くなります。(高・中・低の3段階の調節が可能です。)

低 中 高

高さ調節ロックレバーの操作方法

①横を向いているロックレバーを90°回転させてから、ロックレバーを押込みます。

②ロックレバーを押込んだまま合わせたい高さの位置までスライドさせ、ロックレバーを離します。

1 2

テーブル裏面

3 ロックレバーを離すと、自動で90°回転をし、ロックが掛かった状態になります。

ロック状態

高さ調節をした後は、必ずロックレバーが横になっていることを確認して下さい。ロックレバーが横になっていない状態でお子様を乗せると、歩行器が急に折り畳まれてケガをする危険性が有ります。必ず確認して下さい。

スライドさせて高さを調節した後は、テーブルを上から押して歩行器が折り畳まれないうかを確認して下さい。

◎ 折たたむ時

1 歩行器を折りたたむ時は、高さ調節の時と同じくテーブルの裏側にある高さ調節ロックレバーのロックを解除し、内側に押し込んでスライドを前へ移動させながらテーブルを一番下までゆっくりと下げてください。

①横を向いているロックレバーを90°回転させ、ロックレバーを内側に押込みます。

②ロックレバーを前にスライドさせながら本体をゆっくりと一番下まで下げます。

1番前に移動させる

収納スタイル

急激に下げて、本体ベースとテーブルの間に手を挟まないようご注意ください。テーブルを下げる時はゆっくりと下げてください。

◎ ロック部分説明

1 ロック 解除状態

高さ調節
ロックレバー

2 ロック 状態

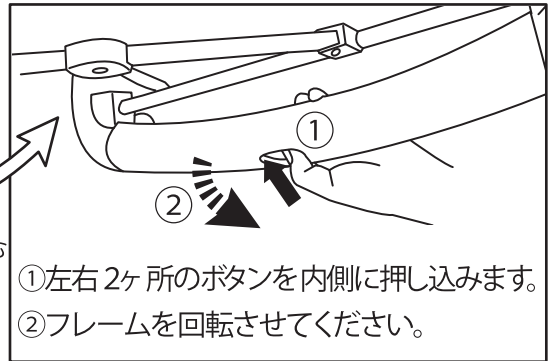
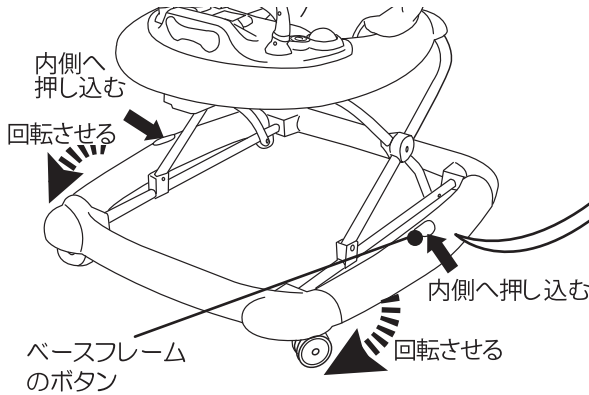
高さ調節
ロックレバー

⚠ お子様を乗せて使用するときは、必ずロックレバーが横を向いているかを確認して下さい。

◎ ロッキングシートとして使用する場合

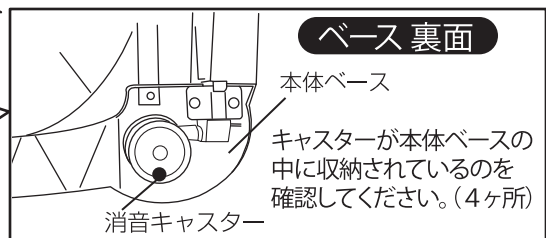
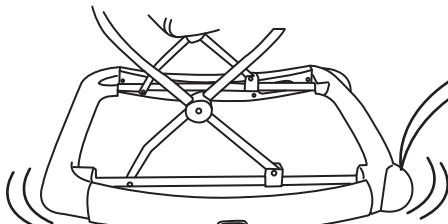
! 必ずお子様を歩行器から降ろして作業してください。

1 ベースフレームの左右にある三角形の白いボタンを押し込みフレームを回転させてください。



- ①左右2ヶ所のボタンを内側に押し込みます。
- ②フレームを回転させてください。

2 左右のフレームが回転し、ロッキングシート状態になります。

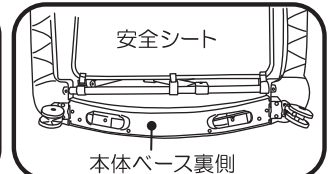
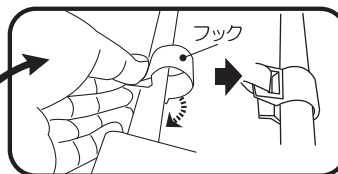
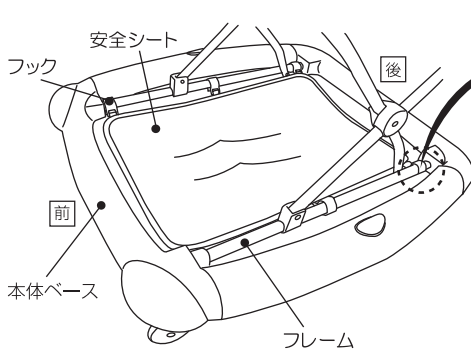


! ロッキングシートを強く揺らしたり、シーソーにして遊ばせたりは絶対にしないでください。

! お子様を乗せたままで歩行器からロッキングシートへの変更作業はしないでください。お子様がケガをする恐れが有り、大変危険です。

◎ 安全シートの取り付け方法

安全シートを広げ、図の位置に取り付けます。(6ヶ所)



6個あるフックのうち3個を本体のフレーム右側に、残り3個のフックをフレーム左側に取り付けてください。

6ヶ所のフックがしっかりとフレームに取り付けられていることを確認してください。

※フックは必ず本体ベースの左右のフレームに取り付けてください。

! シートに付いているフックが6ヶ所、しっかり留まっているのを確認してください。外れているとお子様ケガをしたりする恐れがあり、大変危険ですので必ず確認を忘れないでください。

※ **安全シートはストッパーの役目をします。** 安全シートを取り付けることにより、お子様の行動を制約できます。

※安全シートを取り付けてもお子様の行動を完全に止めることはできません。お子様から目を離さないでください。

製造物責任保険について

弊社は、すべての弊社製品の品質については絶対の自信を持っておりますが、消費者の皆様が正常に使用されておられたときに、万一製品の欠陥により事故が発生し、皆様の身体に損害をおかけした場合、その損害を補償するため、保険会社と提携して「製造物責任保険」の契約をしております。万一事故が発生した場合は、直ちに弊社にご連絡ください。